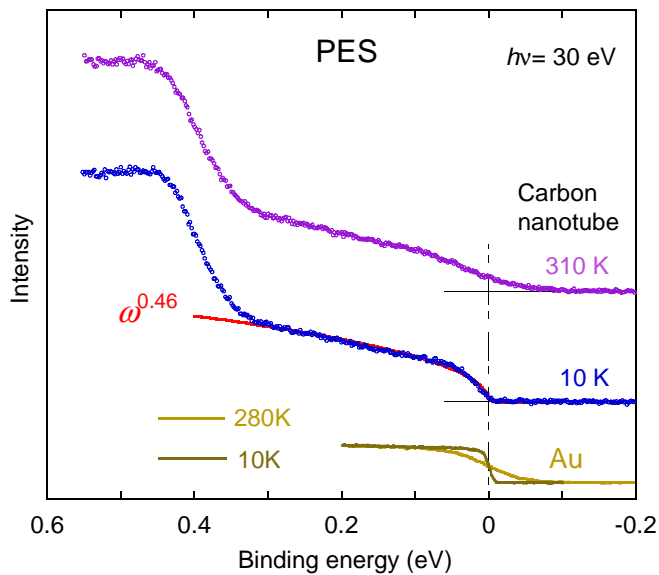




2004年5月11日 国際交流会館前にて



新入生オリエンテーション (5月9-10日, 八王子大学セミナーハウス)



都立大学の研究グループがカーボンナノチューブの光電子分光(PES)で示した朝永-ラッテンジャー液体状態の直接観測の実験データ。横軸の 0 はフェルミエネルギーで、束縛エネルギーが大きくなるにつれ、エネルギーの 0.46 乗で電子密度が増加している。通常のフェルミ流体である Au ではほぼ一定値を示す。右側はカーボンナノチューブのイメージ図。